



発行所 一般社団法人 神奈川県造園業協会 横浜市中区常盤町2-10 仲光ビル2階 〒231-0014 電話 (045) 662-8793 662-1767 FAX (045) 662-4381



http://www.kanagawazoen.or.jp

年頭のあいさつ

(一社) 神奈川県造園業協会

会長 松倉 仁



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より協会運営につきまして格別のご理解、ご支援、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。



初冬の富士山

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、職場で行動制限や自粛、自衛などあらゆる手段で感染防止対策をされ新年を迎えられたことと存じます。コロナ感染者が減少してきた現在ですが、未だ完全抑制できていませんので油断せず自衛対策をお願いいたします。

私たちが協会は造園業とする企業、個人にとり必要とされる技能検定、研修、講習、講演会、造園資材の斡旋、賛助会員と提携した福利厚生関係、経営に関する相談窓口。造園技能、技術の継承活動。医療保険、傷害保険等の共済事業等々を協会の活動軸としていきます。

現在「これからの協会の在り方」という課題で理事、支部長、部会、委員会のオール協会で取り組んでいるところですが、特に業界の担い手であります若い世代の考え方、意見の中に多くのヒントがあるものと期待しています。

再起の年に。飛躍の年に。

神奈川県知事 黒岩 祐治



新年あけましておめでとうございます。昨年は、年初の緊急事態宣言の発出に始まり、新型コロナウイルスとの闘いの連続でした。この間、県民、事業者の皆様には、外出自粛や営業時間短縮などの要請を繰り返すことになりました。

しかし、新たな変異ウイルス「オミクロン株」への懸念もあります。決して油断することなく、基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いいたします。今後は3回目のワクチン接種が進み、経口薬の実用化・普及も見込まれています。医療提供体制も、第5波の2割増しの入院者数にも対応できるよう強化してまいります。これらによって、感染や重症化のリスクは抑制されますし、病床ひっ迫もこれまでよりも生じにくくなります。2年間にわたる「闘い」を経て、コロナとの向き合い方は「共存」へと変わりつつあります。

結びにあたり、会員各位、日ごろ大変お世話になっております神奈川県議会自民党みどりの会の方々と、並びに県知事をはじめ県行政の方々と、関係団体の方々と研鑽交流が出来ますことをお願い申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

また、災害に強く、誰もが生き生きとくらせる、行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる県土・都市づくりに引き続き取り組んでいきます。皆様のお力添えをどうぞよろしく願っています。

新しい年が皆様にとってより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

謹賀新年

令和4年(2022年) 一般社団法人 神奈川県造園業協会役員一同



- 鈴木 一松 相談役
- 岸本 和好 相談役
- 石川 龍二 相談役
- 小山 俊一 相談役
- 古川 香 相談役
- 松倉 仁 会長
- 川田 秀一 副会長
- 玉井 隆次 副会長
- 原 茂弘 副会長
- 足立原 哲男 副会長
- 瀧川 隆雄 理事
- 岸 純一 理事
- 倉本 澄夫 理事
- 小川 名真 理事
- 小川 務 理事
- 鳥海 正章 理事
- 相澤 正章 理事
- 石井 直樹 理事
- 石井 直樹 理事
- 山田 裕之 理事
- 内田 悟史 理事
- 金子 篤司 理事
- 望月 俊宏 理事
- 藤井 信良 理事
- 梅澤 保雄 理事
- 岡部 一郎 理事
- 富田 改 理事
- 森住 等 理事
- 芝口 正美 理事
- 中山 重樹 理事
- 中島 忠 専務理事
- 吉川 誠 監事
- 新倉 治 監事

表彰コーナー

- 神奈川県 卓越技能者 永井清孝 (有)シーランド造園
- 青年優秀技能者 丸山克己 足立原造園土木(株)
- 横浜市 優秀技能者 杉山輝彦 (株)金沢臨海サービス
- 川崎市 技能功労者 山ノ井政志 (株)山ノ井造園
- 大木昭次 (株)山ノ井造園
- 優秀技能者 松本章子 松本造園(有)
- 優秀青年技能者 宮澤翔太 (株)山ノ井造園



「みどり行政に関する要望書」

神奈川県庁(及び出先機関)へ提出

(一社)神奈川県造園業協会と(一社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、九月二十八日に神奈川県小坂橋副知事・大島県土整備局長・鈴木環境農政局長を始めとする幹部職員に対し令和四年度に向け要望書を出し、継続要望五項目について要望しました。

継続要望事項①都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進を実現するため緑化関連公共事業予算の確保・増加と受注機会確保について②造園に関する整備及び維持工事は分



小坂橋副知事・大島県土整備局長・鈴木環境農政局長に要望

離し、指定建設業種である造園専門業者に発注を、また、造園技能士等各種資格所有者の在籍している業者への発注について③一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を下請けではなく元請けの条件として仕様書の明記について④「明治記念大磯邸園」整備における神奈川県としての積極的な取り組みについて⑤校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基礎の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園専門業者への発注について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れました。

ヒアリングの中で、継続要望事項①では県土整備局としては前年対比100%、神奈川の緑の重要性について認識しておりますので、事業量及び予算の確保に努めてまいります。

要望事項②の分離発注では、専門職の配置と必要な発注率の確保に努めてまいります。なお、県土での令和二年度の造園業者への発注工事は41件、業務委託のうち剪定・草刈等96件で合計137件の発注実績があり、今後も行っていく予定です。また、造園工事については、工事の内容を勘案し必要に応じて造園施工管理士や街路樹剪定士の資格を条件付き一般競争入札参加要件としております。

要望事項③では、平成21年度から街路樹剪定士を活用する箇所を順次拡大してきました。令和二年度は藤沢市の県道22号線など48箇所を実施しています。当該活用箇所の発注には全て街路樹剪定士の配置を条件としています。また、一部の箇所では元請の条件とした発注にも取り組んでいきます。今後は、元請の条件として発注の拡大について検討してまいります。

要望事項④の「明治記念大磯邸園」につきましては、一部で開園しておりませんが、完成まではまだ数年かかり引き続き皆様のご意見を伺いながら、県も町と連携して取り組んでまいります。

要望事項⑤では、「県立学校の芝生化については、毎年2校程度実施してはいますが、この取り組みをさらに拡大していくため、平成元年度から、県民や法人の皆様から寄付を募っているところであり、その寄付金を活用し、毎年の実施校数を追加してまいりたいと考えております。」との論議が交わされました。

これを踏まえて十月二十一日と二十二日の二日間に行われた横浜川崎治水事務所をはじめ各土木事務所等県土整備局十一箇所、自然環境保全センター、県央地域県政総合センター等環境農政局七箇所、企業庁水道局寒川浄水場等計十九箇所の出先機関に要望を行いました。

街路樹剪定士認定研修会

日造協神奈川県支部

「街路樹剪定士認定研修会」につきましては、昨年は「新型コロナウイルス」の感染拡大を防ぐため中止とさせて頂きいただきましたが、今年度は、十月十三日に金沢区福浦の横浜市産業振興センターで座学を、十四日に金沢区鳥浜で実技試験が行われました。



座学開校式



学科講習会の様子



実技試験



実技試験朝礼の様子

座学受講者は、日造協会員十二名・神造協会員二十二名、一般十六名、聴講横須賀市他十名の七十名でありました。資格認定実技試験は六十名で実施されました。



内藤教育研修委員会委員長開校式挨拶



岩下講師による第1回授業の様子

この講習会は毎週土曜日15日間の102時間をかけて行う講習会で、職業能力促進法に基づき、「より高

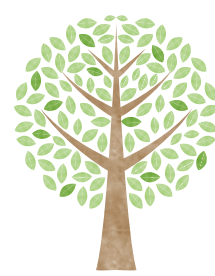
初日の座学では、田口支部長の挨拶で始まり街路樹に関する基本的事項、病害虫、植栽基盤整備等の講義と、ケース・スタディ、現地剪定及び学科試験を行い、二日目の資格認定実技試験はクロガネモチとイチヨウの二樹種を対象に行い、主任判定員及び支部判定員らが安全用具や道具の使用法、適確な剪定技術、出来栄などを厳しく

前年度の「技能士コース」(通称一〇二時間講習)は「新型コロナウイルス」感染防止のため中止といたしました。今年度は、十月九日に開校式を行い第一回目の授業が始まりました。

協会の会議室で開催され、今年度は、2級5名の受講者により実施してまいります。講習終了後2月に修了試験が行われ、合格者は学科試験が免除されます。

「普通職業訓練短期過程 造園技能士(1・2級)コース」開校

なお、この度の研修会の設営にあたりましては日造協神奈川県支部技術委員会、横浜市道路施設課、金沢土木事務所、横浜市金沢



チェックしていただきました。街路樹剪定士認定研修会は平成十一年度から毎年実施、専門的剪定技術には、県・市から高い評価を受けています。

産業振興センターの皆様のご協力とご支援を頂き有難うございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

病害虫防除講習会

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で、例年七月と二月の年二回開催されてきましたが、前年度は「新型コロナウイルス」感染防止の県方針に基づき、中止となりました。今年度は九月三十日の午前・午後の二回、来年二月十日の午前・午後の二回、神奈川県農業技術センター多目的ホールで実施されることとなりました。



病害虫防除講習会の様子

九月三十日に実施された午前・午後の総勢は百二十名(造園業協会関係六十四名)が参加、午前・午後とも二時間に亘り「農業取締法と適正使用」「農薬を安全に使うために」「農薬用マスクの知識と使い方」「ドローンによる農薬の空中散布について」の講義が行われました。

この講習会は農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所等が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で講習会終了後出席者には「修了証」が手渡されました。

なお、令和四年二月十日に実施される講習会について、現在受講希望者を募集しています。申込希望者は協会にお問い合わせ下さい。

なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。

第二十一回 親睦ゴルフ県大会の開催



OUTスタートホール グリーンから見る富士山

第二十一回目を迎えた今年のゴルフ大会は、十一月十二日、レイクウッドゴルフクラブで行われました。参加者六十五名(会員五十六名・県議員九名)当日は強い風が吹いていましたが、良いお天気に恵まれ気持ちよくプレーを楽しんでいました。

各ホールの林とバンカーと池と早いグリーンが精神的プレッシャーになり、スコアも全体的に厳しいものがありました。

優勝は旭支部峯宇哲也氏、準優勝は緑支部唐戸昇氏、第三位は鶴見支部原田満久氏が入賞し、栄えあるベスグロス賞はグロス75で神奈川県議会自民党みどりの会柳下剛氏が受賞いたしました。

昨年引き続き今回の大会も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パーティ終了後のパーティー及び表彰式は中止とし、各賞については後日郵送により受賞者にお配り致しました。どうぞまた腕を磨いて来年に挑戦して頂きたいと思ます。幹事の皆様有難うございました。



INスタートホールにて



受付担当(総務厚生委員と事務局)の皆様

NEW

連続生成型電解水素水整水器
TRIM ION Refine
【管理医療機器製造販売承認番号:303A8Z00027000】

欲しいのは、健康
それは、いつでも。

効果 / 胃腸症状の改善 胃もたれや胃の不快感をやわらげます。胃腸の働きを助け、お通じを良好にします。

ご使用上の注意

- 飲用に適合した水(水道水など)以外には使用しないでください。
- 腎疾患の方はご使用前に医師に相談してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

決め手は固体高分子膜ハイブリッドダブル電解システム

STEP1 固体高分子膜電解槽
中性の高濃度電解水素水

STEP2 隔膜電解槽
アルカリ性の高濃度電解水素水

水素濃度をあげたい。しかし同時にアルカリ性が強くなりすぎると、限界がありました。この問題を解決したのが、固体高分子膜電解槽です。固体高分子膜電解槽は当社が血液透析への応用で実用している技術です。固体高分子膜電解槽と隔膜電解槽とを組み合わせることで、高い水素濃度でカラダに優しい電解水素水を作ることができるようになりました。

～飲用だけでなくお料理など幅広くお使い頂けます～

お料理に ごはんがさらさら美味しくいただけます。

下ごしらえに 新鮮野菜をよりおいしく!

お飲用に お茶もより深く、風味が増します。

お問い合わせは 0120-328-106

株式会社日本トリム

お客様と共に、リコー・ジャパンはSDGsに貢献していきます

RICOH imagine. change.

私たちリコー・ジャパンは、地域社会の発展に貢献する企業であるため、**お客様と新しい価値を共創する**ことのできるパートナーを目指しています。

お客様と共にSDGsの達成に貢献していきます

SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、世界の貧困をなくし、持続可能な世界を実現するため、2030年までに解決すべき17の社会課題から成り立っています。これを受けて、公的ないし民間の投資の流れは、SDGsの課題解決の方向に転換されて行くことが予想され、企業からは、今後の成長機会であるとともに経営リスクの回避手段とも捉えられています。

SDGsの17項目のアイコンが並べられています。

リコーグループは5つの重要社会課題を設定

国際社会で合意された持続可能な開発目標(SDGs)と、リコーの経営理念を踏まえ、事業を通じて取り組む5つの重要社会課題(マテリアリティ)と新たな環境目標を設定しています。

Prosperity (持続可能な経済) 事業戦略の実践で持続的に貢献します

Planet (持続可能な地球環境) 環境対応の実践で取組めます

2050年に、自社排出の温室効果ガス(GHG)排出ゼロを目指す

日本企業として初めてRE100に参加

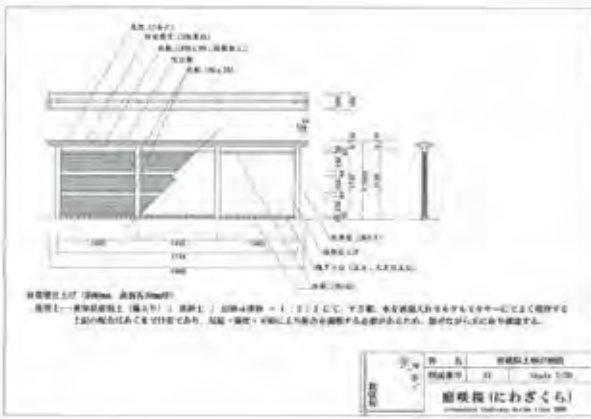
CDPから最優秀の「気候変動Aリスト」企業に認定

株式会社リコーは、ドイツのoekom社が実施しているサステナビリティ格付けにおいて「Prime」の評価を受けました。oekom社は持続可能な投資分野における世界的格付け機関です。「社会」と「環境」の2カテゴリーで、業界ごとに設定した評価項目により総合的に企業を評価し、各業界のなかで優れた総合的な企業を「Prime」と認定しています。

作庭塾「庭守」の活動報告

土塀づくり(塗塀) 中谷 徹

横浜市泉区にあるお寺・密蔵院(高野山真言宗で開山は祐海法印、本尊は願行作とされる不動明王です)で作庭塾庭守による中庭の作庭が本年2月から行われていますが、工事も終盤となり9月からは土塀づくり(真壁)を行いました。このコロナ禍ではありませんが、感染予防対策(マスク着用、検温、ソーシャルディスタンス等)の徹底と各参加者の理解・協力のもと講習会を進めて参りました。土塀の講習会は9/12、9/19、9/26、10/3、10/24(いずれも日曜日)の計5回に亘り他の作業と並行しながら行われました。土塀(どべい)とは、粘土質の土や泥に、石灰とフノ



密蔵院土塀計画図

リに加え、菜種油、水、藁などの天然素材だけでつくられた伝統的な塀で、日本をはじめ韓国・中国などアジアの国々に多く見られます。日本三大土塀として、兵庫東西宮神社の大練塀、京都府三十三間堂の太閤塀、愛知県熱田神宮の信長塀が有名です。土塀は、塗塀(ぬりべい)、築地塀(ついにべい)、練塀(ねりべい)の種類があり、今回の講習会では塗塀をつくりました。塗塀は土台や柱が骨組みとなり、柱と柱の間を小舞(こまい)を結んでそこに土を塗って仕上げる土塀です。

講習の第1回(9/12)は土塀の柱となる栗柱のちよな名栗仕上げを学びました。今回作る塗塀は真壁といって骨組みとなる柱をみせる土塀なので、名栗仕上げ柱を使うことでより味わい深いものに仕上がります。その名栗仕上げをするための道具(ちよな)を使い、いこなすのもひと苦勞、その難しさを肌で感じるこ

ができました。



ちよなによる名栗加工

名栗仕上げした後、胴縁や桁のほぞ加工と屋根板と柱の接合部分の加工及び接合部分の仕組みを学びました。そして柱・胴縁・桁・屋根板をバーナーで焼き、真鍮ブラシで研磨し濡れ雑巾でふき取り、いざ建込へ。



立て込み穴掘削



柱の芯出し

柱建込の際に注意しなければならぬのが、名栗柱は曲や歪みがあるため芯出しが重要であり、建て方ひとつで見え方が変わるとい



柱の立て込み

柱の根入れ深さは90〜100cm必要で、それ以下だと土塀の重さや風の風圧で倒壊する恐れがあります。また、腐食やシロアリ対策として地中にポイド管を入れコンクリートで柱を巻きます。



ポイド管、コンクリート根巻き

最後に屋根板を載せて初日は終了しました。



屋根板の取付

第2回(9/19)は渡部講師による柱芯出しの方法や小屋根の勾配や構造についての説明を聞いた後、小舞竹割りから始めました。



屋根の構造などを説明する渡部講師



小舞竹割り

別グループは地ざり石の設置や柱にほぞ穴を空けて胴縁を組み込む作業などを分担して作業を進めます。地ざり石は大き目なものを据えることで安定感を持たせました。



地摺石組と胴縁取付

小舞の仕様は人によって多少異なりますが、今回は棕櫚縄で小舞竹を絡げました。小舞竹取付では柱・桁に穴をあけて小舞竹を差し込み、棕櫚縄で絡げしっかりと結びなければなりません。狭い編み目に指を入れて縄を絡げる根気の要る作業です。



小舞竹取付

午後からは入口付近の延段の作業も並行して行われました。



アプローチ延段

第3回(9/26)は粘土の配合と塗壁作業を学びました。本来ならその土地の粘土質の土や泥を用いて藁・水・菜種油・石灰・フノリを混ぜて足踏みし、約半年間その粘土を乾燥させないように練り置き、藁を発酵させて土練り置き土をつくります。半年間寝かせた土は耐候性や撥水性、粘着性が増し土塀の強度を高めるそうです。今回の講習会では、コロナ禍やお寺様の諸事情などの制限された中での土塀づくりでしたので練り置き土ではなく、その場でモルタルミキサーで練った土を用いました。配合は、愛知県産の粘土(2)・真砂土(1)・



粘土に触れる

山砂(1)・油(適量)をバケツ計量にて行いました。ここで大切なのは、よく攪拌した粘土を素手で感触を感じ、コテで練り具合を確認することです。



裏面の壁塗り2



裏面の壁塗り1

この日は天候に不安もあったため裏面のみの塗壁作業を行いました。土と柱や桁の隙間防止のための小ひびこ(トンボ)を5〜10cm間隔で取付け、上から下へと土を中塗コテで塗り込み、左官仕上げしました。



アプローチ洗い出し

第4回(10/3)は、表側の壁塗りと屋根の防水処理までを行いました。



表面の壁塗り



屋根の防水処理

急激な乾燥や雨に濡れてしまうと大きなひび割れになってしまうのでじっくり2週間くらい養生します。

この日の作業が終わる頃にはもう薄暗くなつてきて、自動点灯したライティングで浮かび上がった土塀もまた印象深いものでした。



すあま取付



杉皮葺き

第5回(10/24)は、塗壁の仕上り具合とひび割れの確認をした後に、撥水材を塗布し、屋根の仕上げ(杉皮葺きとすあま竹取付)を行いました。



壁塗り完了



ライトアップ



筆者(左)と川田講師(右)

中谷 徹

今回の講習会で土塀づくりは様々な工種があり、その各過程でのポイントを知ることができたと思います。道具ひとつなければつくることができません。特に土塀に関しては粘土づくりの配合の重要性が大切かと思えます。その他にも土塀の知識も知っておかなければなりません。そういったことを踏まえ、私たちは各々自主練習や庭づくりで土塀づくりにチャレンジしてゆければと思います。最後ですが、皆様のおかげで素敵な土塀が完成し、その土塀を庭のひとつの景として残せたことに感謝致します。ありがとうございます。

庭咲桜(にわざくら)

その際、造園・外構工事を一任され庭守の講師である川田造園川田秀一並びに(有)植定渡部定男様に相談の上、庭守の研修の場として作品として残せる場となるよう協力をお願いいたしました。客殿の着工は2017年

私の菩提寺である密蔵院(高野山真言宗・横浜市泉区和泉町727)の客殿・庫裡の新築工事を亡父重治が建築委員の一人として進めていました。しかしながら着工の日を待たず旅立ってしまった、その役割をご住職並びに総代様より引き継ぐようお声かけいただき微力ながらお引き受けいたしました。

密蔵院工事総括 石井新次



一条恵観山荘(鎌倉市) 参考写真



土塀完成

11月9日に地鎮祭の後進められおおよそ1年後の2018年11月4日に客殿石積工事から着手となりました。石積工事は協議の上、相木石(あいき)を使い野面積で行うこととなり、皆今までの経験を活かし懸命に取り組みました。納得のいかない箇所を何度も壊しては積み直しを繰り返し、おそらく全体を3回は作り変えたこととなります。その為、休日を返上し述べ13日間141人の人工を数えて2019年3月末で完成となりました。(写真:相木石積み)



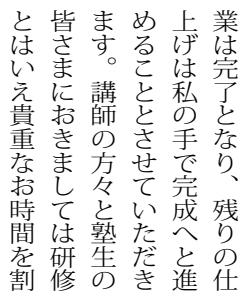
その後は2019年9月15日16人、16日14人の参加で本殿右脇の光悦寺垣を作成し、翌2020年6月14日20人と9月13日14人で客殿脇の延段を完成させました。(写真:光悦寺垣と延段)



中庭平面図

本堂と客殿、庫裡に囲まれた中庭については、まず2020年9月6日に塾生全員によるプレゼンの練習としてのデザインコンペを行い、ご住職の希望を取り入れたプランを木下庭園管理・木下透氏に図面作成していただきました。(写真:中庭平面図) その際にも講師の方から塾生各自のプランを講評し作成のアドバイスをいただいていた良い経験となったことと思います。

等々を行いました。庭石は鳥海山、筑波といった山石をもとに、総重量およそ40t以上の庭石を適所に使い分けして形作りしました。4月25日までで10日間延べ160人かけて大まかに完成させました。作成途中で、庭咲桜中谷徹氏の提案で、設計段階では竹垣で想定していた部分を土塀に変更し9月12日より土塀の着工となりました。作業は栗柱を手斧で削るところから始まり壁土を練る配合、コマイの付け方、鏝裁き、屋根の杉皮葺きと様々な技法を経験させていただきました。土塀は延べ80人の参加で完成させることとなりました。私の息子2人もずっと作業に加わらせていただき良い経験と勉強になったと思います。ここまで庭守としての作



施工途中 2021.2.28

業は完了となり、残りの仕上げは私の手で完成へと進めることとさせていただきます。講師の方々とおまましては研修皆さまにおきましては研修とはいえ貴重なお時間を割いていただき、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。(石井新次/石井農園)



施工後 2021.11.22

県立相模原公園

木下 透

庭守で2013年から関わっている県立相模原公園内日本庭園「衆游の庭」での維持管理作業は2021年は4月25日、8月22日と今回11月14日に15名が参加して行われました。相変わらず桜の大木などには随所に腐朽が見られ、枯れ枝も

散見されるのでツリークライミングによる枝下ろしも通常の剪定作業に加えて行いました。メンバーがこれだけ集まるとそれぞれが得意分野に散って手際よく作業をしていきます。昼休みには日頃の仕事のことや健康のこと、ハサミなどの道具談義など活発に情報交換も行われ、これも同業団体の良いところではないかと

思います。午前中には主立った作業が終わり、午後は掃除と庭園外のウメの剪定などにも手を付けました。コロナも今は少し下火になっており開放された公園には通常の休日風景が戻って賑わっておりました。このままこんな日々が続くことを願いながら西日に照らされた「衆游の庭」を後にしました。



●会員等名簿の変更●
(ホームページ参照)

賛助会員

枳屋グループホールディングス <資材関係/その他>
住所 〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川3-7-18-303
代表者 岩崎千恵子
TEL 045-442-4567 FAX 045-341-5543
株日本トリム横浜営業所 <資材関係/その他>
住所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
日本生命新横浜ビル6F
代表者 大野慎也
TEL 045-475-1650 FAX 045-475-1602

社名変更

○横浜中央支部
(旧) 樹大匠緑化建設 → (新) 樹ゼンリョク

代表者変更

○緑・東支部
(有) 神之園
代表者 (旧) 神之蘭文男 → (新) 神之蘭匡志

事務局情報

(月間行事一覧)
●諸会議その他●

月 日	概 要
12/3 (金)	情報委員会 15:00 ~
12/4 (土)	技能士コース第9回 9:00 ~
12/6 (月)	神奈川県事業内職業訓練事業補助金遂行調査 13:30 ~
12/11 (土)	技能士コース第10回 9:00 ~
12/14 (火)	正副会長・会計理事・各部長・各委員長合同会議 15:00 ~
12/18 (土)	技能士コース第11回 9:00 ~
12/28 (火)	御用納め
1/5 (水)	御用始め
1/17 (金)	技能検定コース修了試験作成会議 14:00 ~

神奈川県造園業協会は今年度中止とします。